

令和元年（2019年）10月11日
中野駅周辺整備・都市観光調査特別委員会資料
まちづくり推進部中野駅周辺まちづくり課

中野駅西側南北通路・橋上駅舎等事業に係る実施設計作業の成果について

中野駅西側南北通路・橋上駅舎等事業について、区と東日本旅客鉄道株式会社（以下、「JR 東日本」という。）で締結した協定に基づき、平成 29（2017）年 12 月より進めてきた実施設計作業が完了したため、作業成果及び今後の予定を報告する。

1. 建物概要

用途：駅施設、店舗
建築面積：約 6,500㎡
延床面積：約 18,500㎡
（別に、ラチ内コンコース約 1,100㎡、南北通路約 1,400㎡）
構造：S造（一部CF造）
規模：地上5階、塔屋1階
建物高さ：約 29.0m

2. 建物図面及び完成イメージ

2階平面図・断面図・立面図・外観イメージ・内観イメージは別紙1のとおり

3. 建物本体工事の協定締結及び支障移転工事の協定変更について

実施設計の成果を踏まえ、今後、建物本体工事の施行協定締結手続きを進める。併せて、既に着手している支障移転工事について、設計、工事の作業進捗により、共通費の費用負担の見直しや電気関係工事の一部取り止めなどの変更が生じたため、変更施行協定の締結手続きを進める。

4. 工期及び工事費について

工期については、これまで南北通路・橋上駅舎の開業は令和8年度末（2027年3月）頃の想定であったが、3ヶ月程度短縮となり令和8年末（2026年12月）頃となる見込みである。

工事費のうちの中野区負担分については、支障移転工事分が約6億円減額となり約21億円、建物本体工事分が約89億円、区負担分総額は約110億円となる見込みである。

5. 今後の予定

建物本体工事の施行協定及び支障移転工事の変更施行協定を鉄道事業者と12月頃に締結し、本年度内の建物本体工事着手を目指す。

6. その他

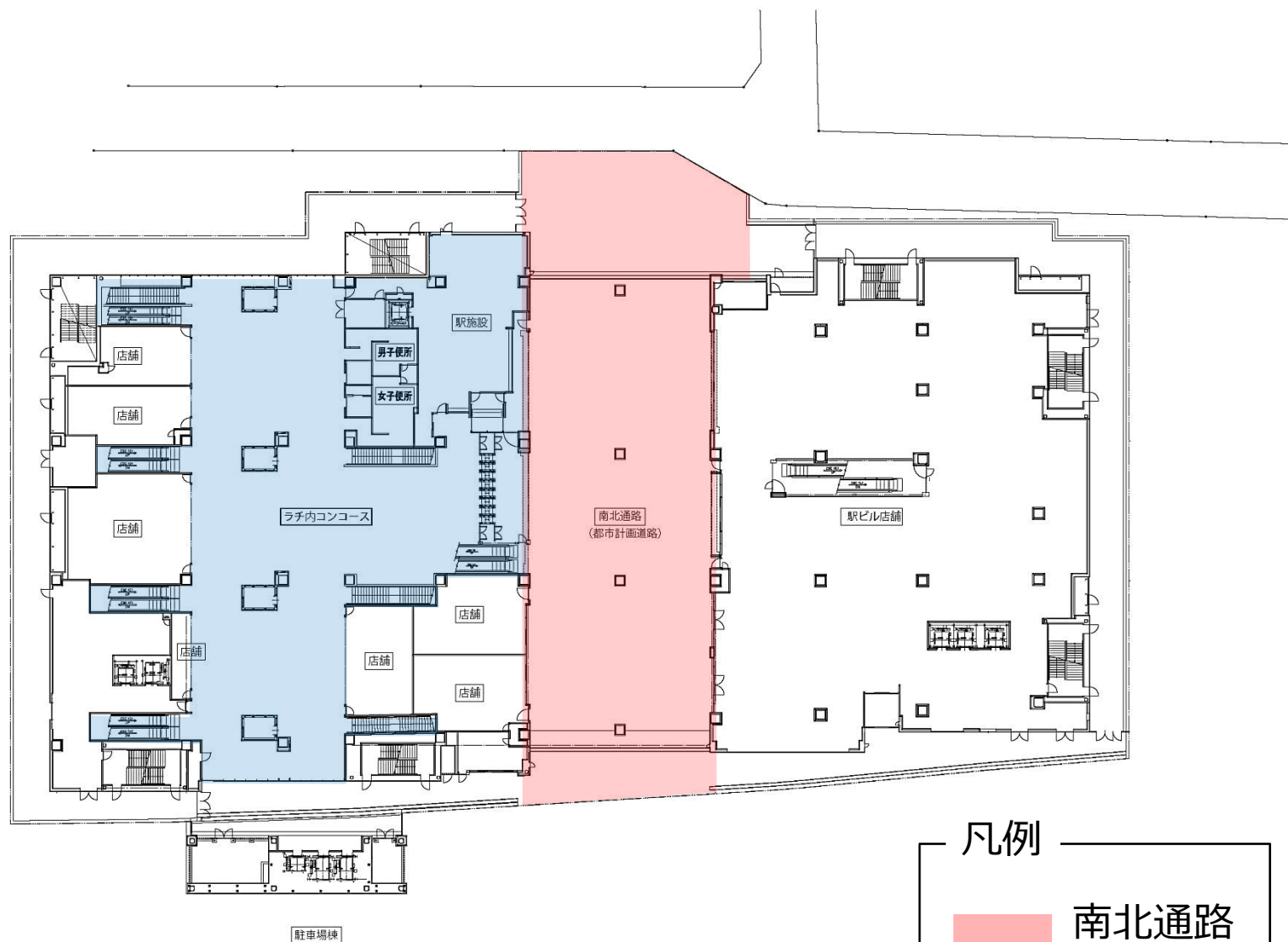
1) 用地の交換について

JR 東日本が駅ビルの附置義務駐車場（荷捌き・身障者用）を新北口駅前広場地下に整備するため、実施設計の成果を踏まえ、今後、別紙2のとおり用地交換の手続きを進める。

2) 道路一体建物協定について

建物本体の工事着手にあたり、道路法第47条の8に基づく、道路と建物が一体になることによる道路の新設、改築、管理の費用負担等に関する協定を鉄道事業者と締結する。

2階平面図



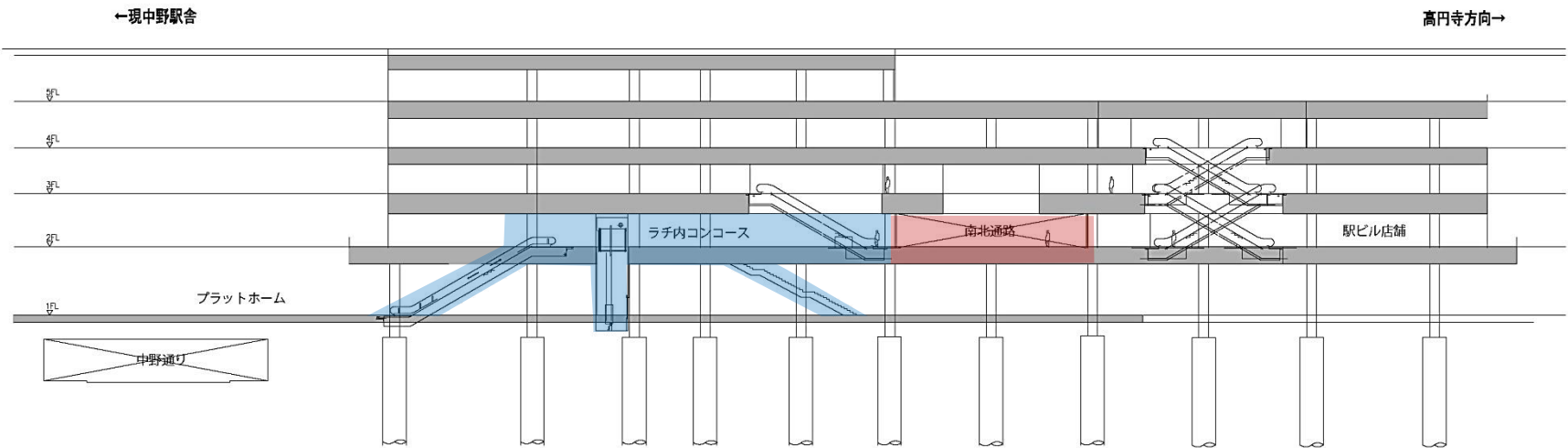
2階平面図

凡例

 南北通路 橋上駅舎

2. 建物図面及び完成イメージ ~断面図~

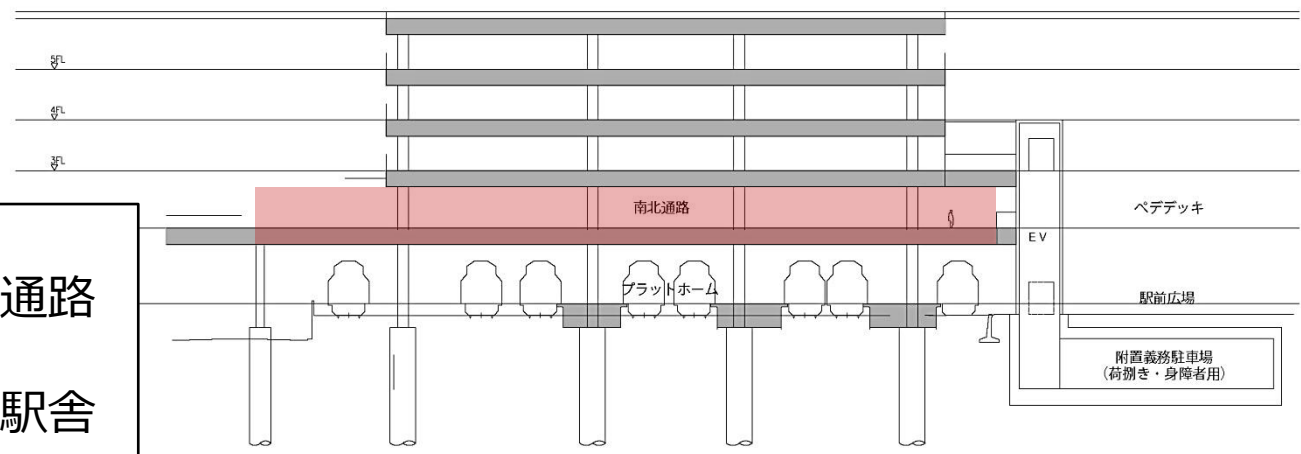
断面図



B-B'断面図

←中野3丁目(旧桃丘小側)

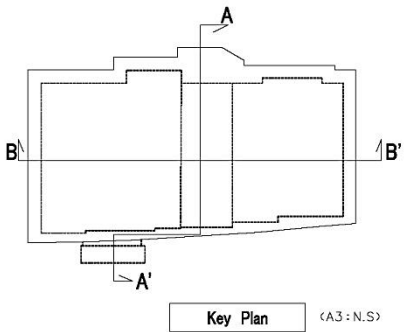
中野4丁目(区役所側)→



A-A'断面図

凡例

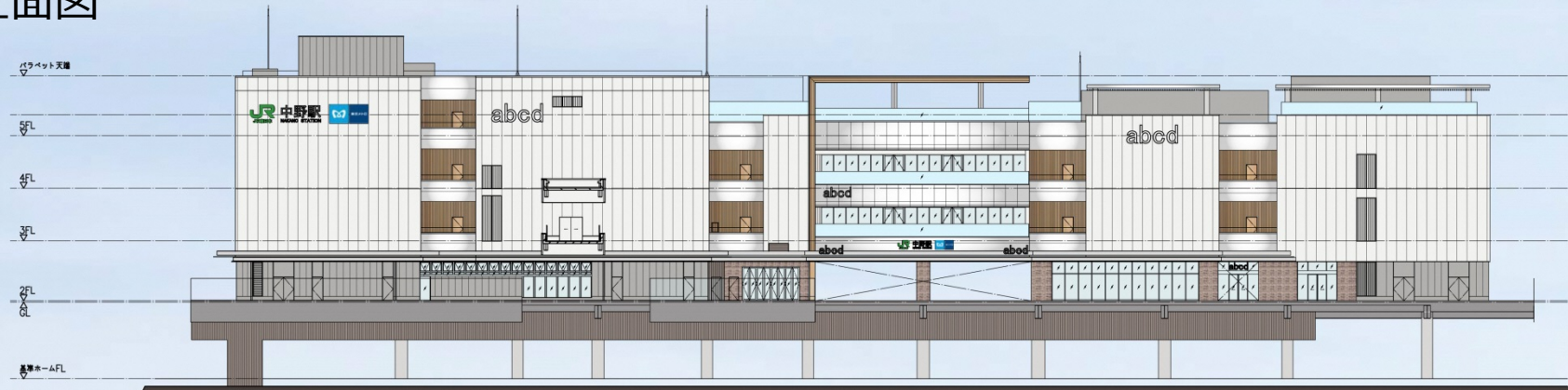
- 南北通路
- 橋上駅舎



Key Plan (A3: N.S.)

2. 建物図面及び完成イメージ ~立面図~

北側立面図

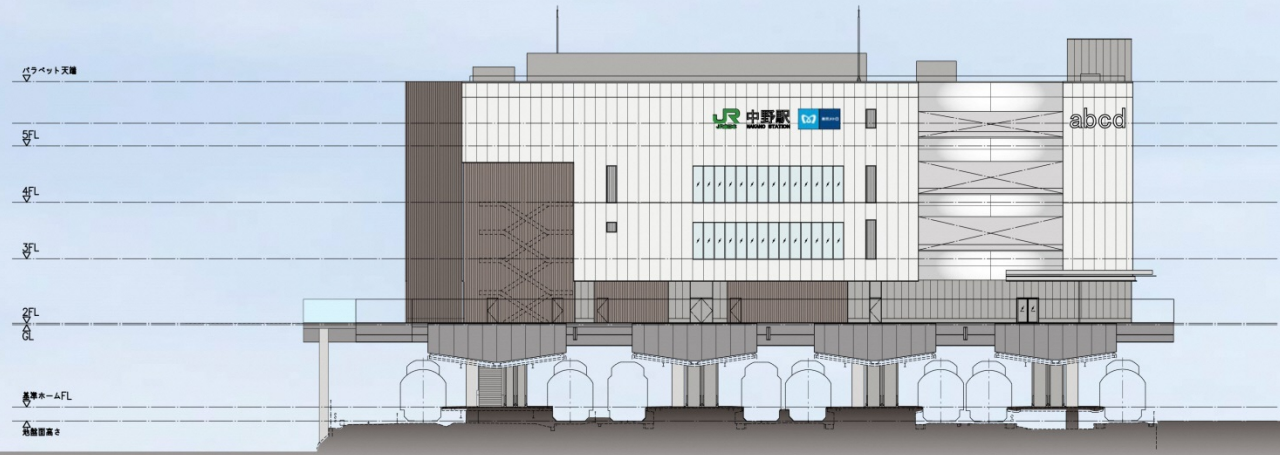


東京方

北側立面図 S=1/200 (A3:1/400)

三鷹方

東側立面図



東側立面図 S=1/200 (A3:1/400)

南側立面図

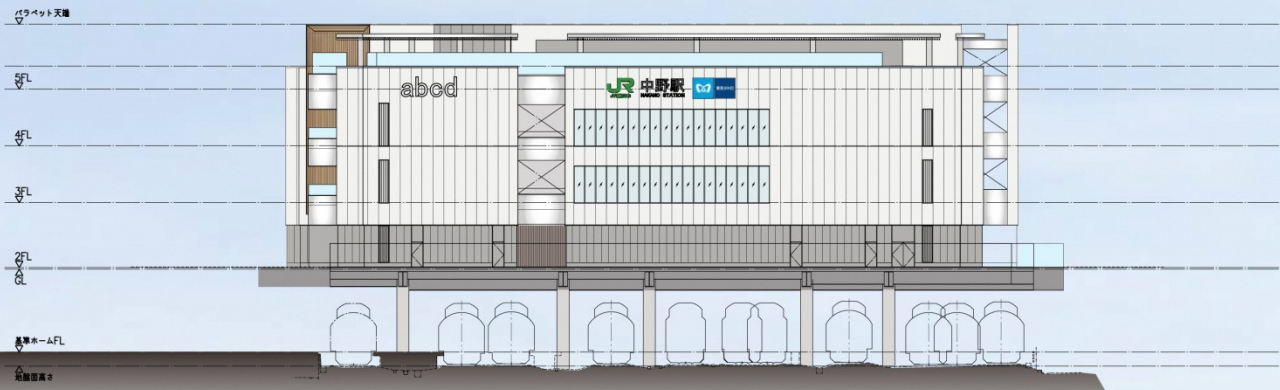


三鷹方

南側立面図 S=1/200 (A3:1/400)

東京方

西側立面図



西側立面図 S=1/200 (A3:1/400)

2. 建物図面及び完成イメージ ～外観完成イメージ～

※この整備イメージ図は想定であり、整備の段階では変更となる可能性があります。
また、歩行者デッキは建物との接続イメージとして示しており、詳細は実施設計にて検討します。



2. 建物図面及び完成イメージ ～外観完成イメージ～

※この整備イメージ図は想定であり、整備の段階では変更となる可能性があります。
また、歩行者デッキは建物との接続イメージとして示しており、詳細は実施設計にて検討します。



2. 建物図面及び完成イメージ ～外観完成イメージ～

※この整備イメージ図は想定であり、整備の段階では変更となる可能性があります。
また、歩行者デッキは建物との接続イメージとして示しており、詳細は実施設計にて検討します。



2. 建物図面及び完成イメージ ～外観完成イメージ～

※この整備イメージ図は想定であり、整備の段階では変更となる可能性があります。
また、歩行者デッキは建物との接続イメージとして示しており、詳細は実施設計にて検討します。



2. 建物図面及び完成イメージ ～内観完成イメージ～

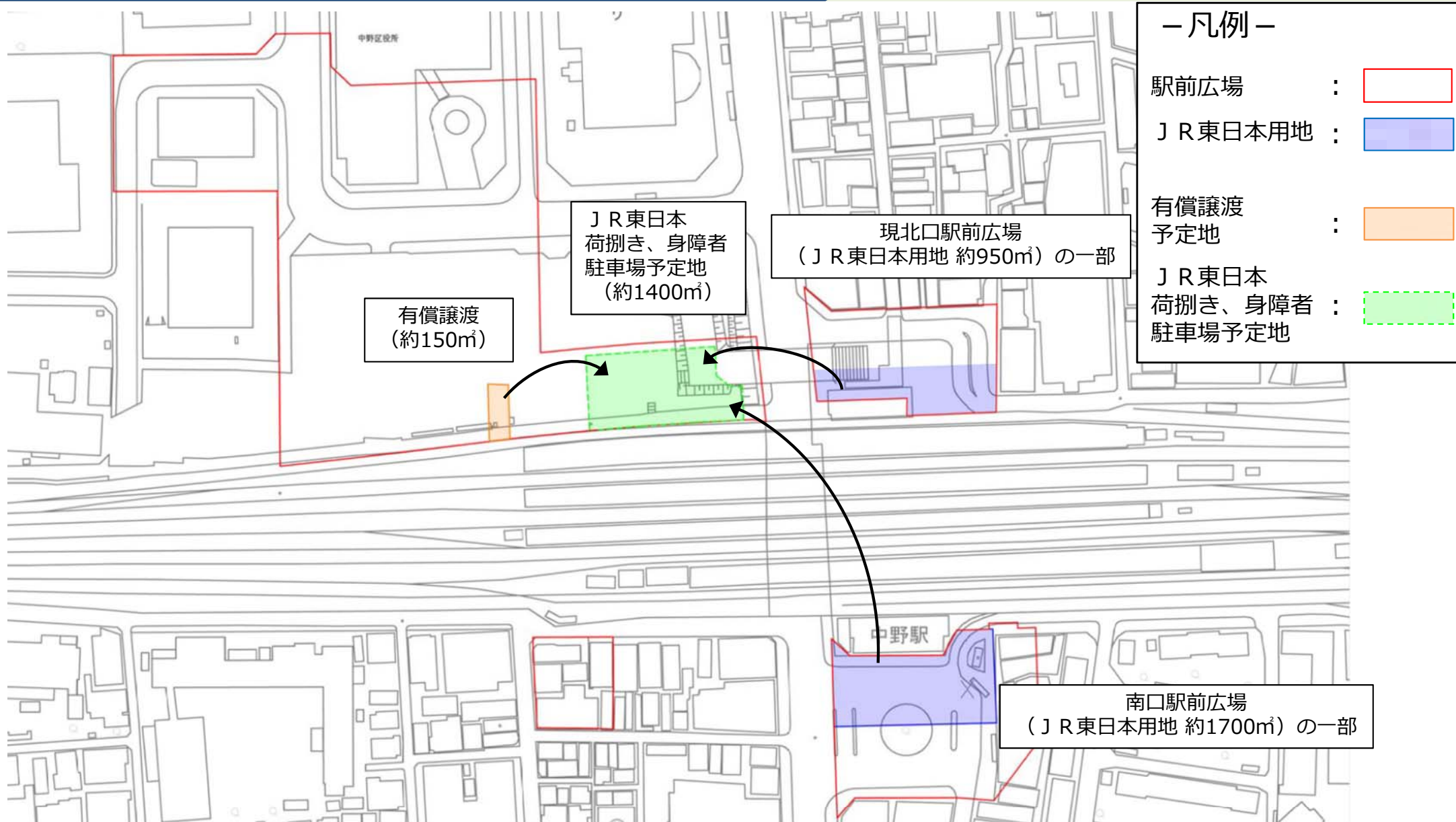


※この整備イメージ図は想定であり、整備の段階では変更となる可能性があります。

2. 建物図面及び完成イメージ ～内観完成イメージ～



※この整備イメージ図は想定であり、整備の段階では変更となる可能性があります。



- JR東日本は「中野駅西側南北通路・橋上駅舎等事業に関する基本協定」に基づく協議により、駅前広場区域面積のうちの約2,800㎡を保有することとしている。現有面積で不足する分約150㎡については、区からJR東日本へ有償譲渡する。
- JR東日本は、本事業により駅ビルを建設するため、東京都駐車場条例に基づく附置義務駐車場が必要となる。荷捌き、身障者駐車場を自社敷地に建設するため、必要面積分を区との用地交換により新北口駅前広場内に確保する。